

生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります

高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります



公園体操講座

5年後のめざす姿

○高齢者が健康で自立した生活を営み、かつ、地域の一員として多様な世代と交流し、経験や知識を活かして、生きがいを持って生活しています。

指標に注目!

◆めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

モノサシ(指標)	未来プラン策定時の「現状」	25年度		30年度
		中間目標	最新値	目標値
ボランティアなど地域や地域の人を支える活動に参加している高齢者の割合(%)	12.2% (平成20年度)	13%	10.3% (平成24年度)	15%
何らかの収入を得る仕事をしている高齢者の割合(%)	39.1% (平成20年度)	42%	39.1% (平成24年度)	45%
要介護認定*を受けていない高齢者(65歳以上75歳未満)の割合(%)	95.79% (平成20年度)	—	95.35% (平成24年度)	95.7%

施策の体系

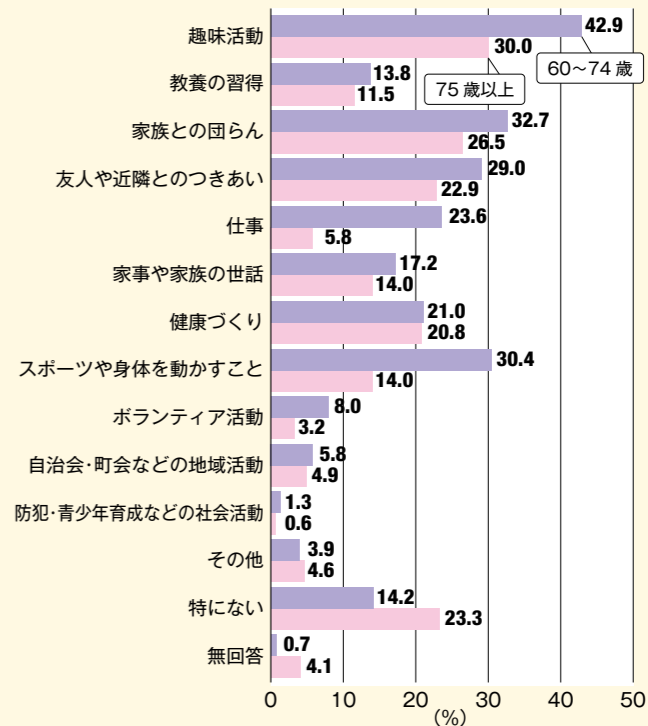
枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります

- ① 高齢者の技術・能力の活用
 - 高齢者の就労促進
- ② 高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進
 - 高齢者の地域活動、交流の場の確保
- ③ 高齢者が元気に過ごすための事業の推進
 - 介護予防事業の充実
 - 認知症予防の促進
↳ 認知症予防講座、認知症予防体操など
 - 生活習慣病*予防の推進
↳ 特定健康診査*、生活習慣病*を予防するための食習慣や運動習慣の啓発など

参考データ

▶ 年代別にみた生きがいを感じること



これまでの成果

- 計画策定当初、地域の高齢者の経験や能力をいかに活用するかが区の課題でした。
- 高齢者の就労支援強化のため、平成24年2月、東京しごと財団から配信される高齢者向け求人情報に加え、区が独自に求人情報を開拓して提供する「大田区 いきいき しごと ステーション」を西蒲田7丁目に開設しました。求職者と求人事業者の適切なマッチングに努め、25年3月末までに233人の就労につながり、高齢者の経験や知識、技術が活かされています。
- ともすれば外出することが少なくなりがちな高齢者が世代間交流や社会参加・ボランティア活動を図る場所を確保するため、地域に根ざしたふれあいサロン2か所の開設を支援したほか、150以上の老人クラブへの支援を実施しました。これらは地域の高齢者が活躍し、生きがいを持つ場となっています。
- 元気な高齢者向けに開催している、さわやかサポート*介護予防教室や公園体操講座には年間延べ約4,700人が参加しています。講座参加者は計画策定当初の約1.5倍に増加しており*1、多くの人から体調改善の声が寄せられています。

*1 平成21年度3,271人、平成24年度4,740人

現状と課題

- 大田区の高齢者の8割以上の人は、要介護認定*1を受けておらず、約3万人のいわゆる団塊の世代*が65歳以上となり、地域に元気な高齢者が増加しています。こうした高齢者の中には就労や社会参加への強い意欲と能力を持っている人もいます。しかし、高齢者の就労や社会参加をめぐる、ニーズ*とのマッチングに課題があります。特に、団塊の世代の中には居住地と職場が離れているため、退職後に地域での足がかりがない人も存在します。
- 区は、高齢者への多様な活動方法の周知と機会の提供、及び個々の経験・能力を必要とする事業者や地域団体などへの情報提供を並行して行う、コーディネート*機能を高めることが求められています。
- 良好な健康状態の維持のためには、早い時期から介護予防に取り組むことが重要です。より多くの人に参加しやすいよう、介護予防拠点の多様化や高齢者のニーズ*にあったプログラムの構築が必要です。認知症予防や生活習慣病*予防もさらに促進しなければなりません。
- 少子高齢社会において、経験や知識を蓄えた意欲ある高齢者は地域の貴重な担い手であり、就労や地域活動などを通じて活躍することが期待されています。

*1 要支援・要介護認定

介護保険のサービスの利用を希望する人が、介護が必要な状態であるか、またどれくらい介護を必要としているかを介護認定審査会が審査判定し、区市町村が認定すること。

施策の方向性と主な事業

1 高齢者の技術・能力の活用

高齢者人口の増加は続き、高齢化はさらに進行すると予想されます。65歳以上高齢者の8割以上は要介護認定*を受けておらず、多くの方が、現役世代と同じように、就労や社会参加活動をしています。様々な経験や知識、技術や能力を持った高齢者の多様なニーズ*に応じた柔軟な働き方を可能にする取り組みを進めていきます。

主な事業

■高齢者の就労促進

高齢者等就労・社会参加支援センター(大田区いきいきしごとステーション)やシルバー人材センターへの支援を継続し、高齢者の就労の相談・支援、情報提供、講座や面接会を開催し、高齢者の就労意欲にきめ細かく応える体制を整備します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
高齢者等就労・社会参加支援センター(大田区いきいきしごとステーション)の運営	→					継続
シルバー人材センターへの支援	→					継続



概ね55歳からの就労や社会参加等の相談窓口である大田区いきいきしごとステーション
西蒲田七丁目49番2号 大田区社会福祉センター7階
TEL: 03-5713-3600 FAX: 03-5713-3602
ホームページ: <http://ota-shigoto.jp/>



求人情報検索コーナーでは、区が独自に開拓した求人情報などを自由に閲覧できる

2 高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進

豊かな社会経験を持った高齢者は、貴重な地域人材*2であり、地域活動の担い手として多くの方がいきいきと活躍しています。すでに活躍している人や活躍したいと思っている人が、その意欲や能力を発揮できるように、地域福祉に取り組む団体などとの連携によって参加のきっかけをつくり、地域活動のさらなる活性化を図ります。

主な事業

■高齢者の地域活動、交流の場の確保

老人いこいの家の再構築を踏まえた新たな取り組みを推進するとともに、シルバー人材センター会員や、地域に根ざした老人クラブの社会貢献活動、地域で高齢者が集い、活躍する「ふれあいサロン」を支援することにより、高齢者の多様な活動・交流の場を確保します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
老人いこいの家の新しい取り組みの推進	→					継続
ふれあいサロン活動の情報提供、区民への周知	→					継続
老人クラブの活性化、地域との連携強化	→					継続
シルバー人材センターへの支援(再掲)	→					継続

3 高齢者が元気に過ごすための事業の推進

元気な高齢者が良好な健康状態を維持し、加齢による身体機能の低下や認知症を予防するため、ニーズ*に合った介護予防や生活習慣病*予防を促進します。

主な事業

■介護予防事業の充実

高齢者が要介護状態にならないよう、寝たきりゼロを目標に、介護予防事業を充実させます。様々な介護予防事業を通して、高齢者の運動習慣を促進します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
介護予防講座	→					継続
介護予防ボランティアの育成	→					継続

*2 地域人材

様々な経験や知識、ノウハウなど、地域活動を活性化する上で必要なものを持っている区民。